

□澄川喜一先生と島根県との関わり

1990（平成 2）年、「石西地区博物館等建設推進会議」発足。翌年 1 月、当時、東京藝術大学教授・美術学部長だった澄川喜一先生が、島根県の博物館整備に関する検討委員の副委員長に就任。

2005（平成 17）年 4 月、島根県芸術文化センターのセンター長に就任。
同年 10 月に開館。

2022（令和 4）年 6 月 30 日、同職退任。

□澄川喜一先生の作品所蔵の状況

- ・島根県立石見美術館では、屋外彫刻 2 点（＊ 1）、彫刻作品 120 点、作家・作品関連資料類 36 件（＊ 2）を所蔵。
 - ＊ 1：野外彫刻 2 点《OROCHI》（黒御影石・2001 年）／《OROCHI》（御影石・2005 年）。グラントワが開館した 2005 年に屋外に設置。
 - ＊ 2：R2 年度、R3 年度に作家より寄贈。作家・作品関連資料類は一括資料につき種類が多岐に渡り、数も膨大。
- ・島根県立美術館では、屋外彫刻 1 点、彫刻作品 10 点を所蔵。

□略歴

- ・1931（昭和 6）年 5 月 2 日、島根県鹿足郡六日市町（現吉賀町）に生まれる。
- ・1951（昭和 26）年、山口県立岩国工業学校（現山口県立岩国工業高等学校）機械科卒業。
- ・1952（昭和 27）年、東京藝術大学彫刻科に入学。平櫛田中、菊池一雄に師事。主に塑造を学び、同校専攻科に進む（1958 年に修了）。
- ・1979（昭和 54）年、《そりのあるかたち-1》で第 8 回平櫛田中賞受賞。翌年《そりとそぎのあるかたち》で第 11 回中原悌二郎賞優秀賞を受賞。
- ・1981（昭和 56）年、東京藝術大学彫刻科教授に就任。1995 年から 2001 年まで同大学の学長を務める（2001 年退官）。全国各地に約 100 カ所の野外彫刻を設置したほか、東京スカイツリー®のデザイン監修（2006 年～2012 年）など、数多くの環境造形を手がける。
- ・1988（昭和 63）年、山口県庁前庭の《鷺舞の譜》を中心とした環境造形で第 13 回吉田五十八賞受賞。
- ・1998（平成 10）年、紫綬褒章受章。
- ・2008（平成 20）年、文化功労者に顕彰。
- ・2009（平成 21）年、島根県功労者に表彰。
- ・2013（平成 25）年、中国文化賞および横浜文化賞を受賞。
- ・2020（令和 2）年、文化勲章受章。
- ・2021（令和 3）年、島根県より県民栄誉賞を受ける。
- ・2022（令和 4）年、島根県芸術文化センター長を退任（6 月 30 日）。